

## クーハンの検査マニュアル

制定 平成 7年12月 1日

製品安全協会

### (検査マニュアルの目的)

この検査マニュアルは、製品安全協会の定める「クーハンの認定基準及び基準確認方法」に基づき、協会がクーハンに対するSGマークの認定を行う際の試験方法の解釈等を定めたものである。

### 2. 適用範囲

クーハンは、本体、取っ手、パッド（敷きふとんを含む。）から構成されていること。

### 3. 安全性品質について

確認は、組立後に行い、必要に応じてフード、パッド等を取りはずした状態で行うものとする。

#### 1. (2) 認定基準

「縫製は適正であること。」とは、上糸又は下糸の切れ、縫い外れ、著しいつれ、たるみ、縫い目曲がり等がなく、縫い始め及び縫い終わりには返し縫いが施されており、かつ、ねじれ等の変形がないことをいう。

#### 1. (4) 認定基準

「身体及び衣服のはさみ込みのない構造であること」は、けが等の恐れがなければ差し支えないものとする。

#### 1. (5) 基準確認方法

確認は折たたみ式の構造のものについて、ダミーを寝かせて載せて行うこととする。

#### 1. (6) 基準確認方法

本体の外面でも乳児の手の届く範囲内であれば確認の対象とし、荷重は最も外れやすい方向に加えることとする。

#### 1. (9) 基準確認方法

本体の外面でも乳児の手の届く範囲内であれば、確認の対象とする。

#### 1. (11) 基準確認方法

確認は、直径5mm及び13mmの円柱状のスケールを用いて行うこととする。但し、パッド等で確実に覆われる本体のすき間及び窪み等の手指をはさむ恐れのない部分は差し支えないものとする。また、編み素材やメッシュ等のすきまも、除外するものとする。

#### 1. (12) 基準確認方法

測定は、内部底面にあて板を介して 3kg以下の重錘を載せた状態で行うものとする。

あて板は、長さ43cm、幅14cm、厚さ 1.5cmを標準寸法とする木製の物を使用し、最も低い位置で測定を行うこととする。なお、測定値には、板の厚さの 1.5cmを加えることとする。

#### 2. (1) 基準確認方法

取っ手を固定する治具の端部は、R10mm のものであること。

#### 2. (2) 基準確認方法

取っ手を支えるフックは、直径 30mm のものであること。

繰り返し試験機に取りつける平板は、検査品の底面より大きいものとする。

「毎分60回の速度」とは、毎分60±5 回以内で繰り返し落下する速度をいう。

#### 2. (3) 基準確認方法

開口寸法の測定は、外力を加えないように内のりを測るものとする。

#### 3. (1) 基準確認方法

「徐々に」とは、5 秒間程度で傾けることをいう。

#### 3. (2) 基準確認方法

ダミーを、後方に 4cmずらした状態についても確認する。

#### 4. (2) (3) 基準確認方法

公的検査機関又は製造メーカーの証明書（2年以内のもの）により確認する。

#### 5. 基準確認方法

付属品の安全性に疑義が生じた場合は、製品安全協会又は検査機関に問い合わせるものとする。

### 4. 表示及び取扱説明書

#### 1. 認定基準

「容易に消えない方法」とは、手又は布でこすったとき消滅又ははく離しないことをいう。

#### 2. (7) (i) 認定基準

「付近で他の子供を遊ばせないこと。」には、子供や動物とした方が望ましい。